

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 620101	交通安全啓発事業				主管課名	防災安全課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	近藤 友久				
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち									
		基本事業	交通安全意識の高揚									
	(1)事業の概要											
	児童生徒や高齢者などの交通弱者を対象に交通安全教室の開催や年代に応じた啓発資材を配付し、交通安全意識の高揚をはかり、交通事故の防止を図る。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							交通安全教室開催回数		回			
							交通安全教室参加者数		人			
							その指標					
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		園児、児童生徒を対象に交通安全普及啓発資材を配付し、また、交通安全教室の開催等により、正しい交通ルールを身に付け、交通事故の防止に努める										
24年度計画	前年と同様 変更あり	▼		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名 称		単 位				
						人口		人				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
交通安全啓発により、子どもや若者、高齢者の交通事故を減らす。						名 称		単 位				
						子ども(15歳以下)の交通事故死傷者数		人				
						若者(16歳以上24歳以下)の交通事故死傷者数		人				
						高齢者(60歳以上)の交通事故死傷者数		人				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
交通安全意識の高揚を図り市内の交通事故を減らす。						名 称		単 位				
						交通安全教室の開催数		回				
						交通人身事故件数		件				
						交通安全教室参加者数		人				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		回	33	33	33	33	33	33				
		人	9,549	9,650	9,646	9,705	9,656	9,650				
(6)の対象指標		人	58,216	58,762	60,600	61,400	62,500	63,700				
(7)の成果指標		人	27	23	23	23	23	23				
		人	69	85	69	69	69	69				
		人	53	46	46	46	46	46				
(8)の結果の成果指標		回	33	33	33	33	33	33				
		件	296	292	290	290	290	290				
		人	9,549	9,650	9,646	9,705	9,656	9,650				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	13
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	2,997	3,975	2,643	2,668	2,678	2,688				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	1,000	0	0	0	0				
	一般財源	千円	2,997	2,975	2,643	2,668	2,678	2,688				
人件費B		千円	3,476	3,503	3,503	3,503	3,503	3,503				
正職員従事時間×人数		時間×人	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2				
正職員以外の人件費		千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000				
その他費用C		千円	91	59	50	50	50	50				
トータルコストA+B+C		千円	6,564	7,537	6,196	6,221	6,231	6,241				
単位あたりコスト		千円/人	0	0	0	0	0	0				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620101	交通安全啓発事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和40年代から			交通事故が多発している箇所への交通安全対策や一時停止規制などの要望は毎年要望がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
交通事故が大きな社会問題となり、みよし市における道路環境整備や人口の増加により、自動車の保有台数が増加し市外からの流入台数の増加と共に交通事故に遭遇する危険度が増加したため				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化し交通死亡事故は減少傾向にあるが、若者と高齢者の人身事故件数は横ばいとなっている。		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
		自治事務	根拠法令	交通安全対策基本法			
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由	この事務を行う根拠又は理由	交通安全対策基本法により作成が義務付けられているみよし市交通安全計画に基づき交通安全思想の普及のため行っている		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容			
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容			
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由 又は 内容				
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由 又は 内容		道路交通法の改正時等にタイムリーな啓発資材により啓発を実施すれば効果は向上する。		
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名	愛知県交通安全協会豊田支部の交通安全啓発事業		
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	内容		より安価な啓発資材への見直しによりできる。		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	内容				
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容				
4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
		交通安全教育を充実させ、体験型の手法も取り入れるなど検討を行う。また行政区要望などで示された交通安全上危険な箇所には注意喚起の看板を今後も設置する。					